

iOSアプリ
「いぬノート」
サービス資料

ANIMA株式会社

はじめに

お忙しい中、本資料にお目通しいただきまして、誠にありがとうございます。この資料は、2017年今冬にリリースさせていただく、iOSアプリ「いぬノート」について、関係者の方にご説明させていただく目的で作成したものです。

ご不明な点がございましたら、遠慮なく資料末尾の連絡先までご連絡をいただければと思います。



ANIMA株式会社

代表取締役 & 愛玩動物飼養管理士

西田 陽介

解決したい課題

日本には、現在1,000万頭近くの犬がいます。（一般社団法人 ペットフード協会 2016）そんな身近な存在となっている犬ですが、しつけに悩む家庭が多くあります。

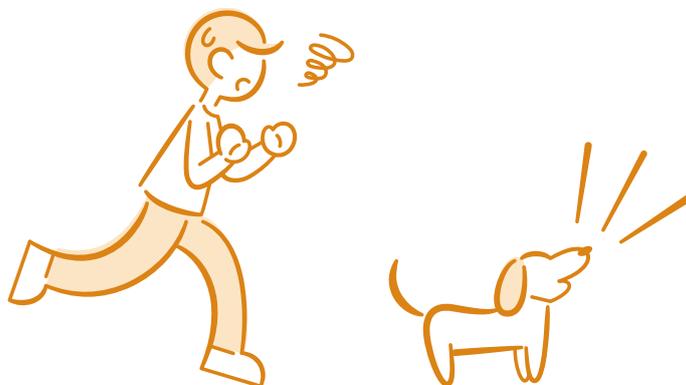
ある調査によると「あなたは愛犬のしつけにおいて失敗したと感じたり、後悔したことがありますか？」という質問に対して、「ない」と答えた方は15.3%、「ある」と答えた方は57.8%、「ある」もしくは「わからない」と答えた方を合わせて84.7%にもなることが分かっています。（ペット&ファミリー少額短期保険株式会社 2014）



また、しつけの失敗・後悔への対応するための情報源として利用しているものが「インターネットからの情報」が **41.5%**、「雑誌や本からの情報」が **34.6%** と答えています。（ペット&ファミリー少額短期保険株式会社 2014）

犬のしつけで悩む人は多く、多くはインターネットや本の中の情報で解決しようとしています。

しかし、現在では否定されているような古い手法（例えば、犬を叩くことを推奨する）であったり、アクセスを集めるだけの無責任な内容になっている場合が少なくありません。そういった手法によって、犬との関係性の修復が非常に難しくなることもあります。



「犬との関係で悩む多くの家庭の手助けになることをしたい。」わたしたちは、専門家たちの質の高いアドバイスを、適切に飼い主に届けるためのアプリを開発しました。

また、アドバイスのみですと毎日使うアプリにはなりません。犬を飼っている方が「これがあれば毎日アプリを使う！」という機能をユーザーに対してテストを繰り返し、設計いたしました。

それがアプリ「いぬノート」です。



■ iOSアプリ「いぬノート」の機能説明

ここでは「いぬノート」各種機能についてご説明させていただきます。大まかに別けると以下の機能になります。

アプリの大まかな機能

1. プロのドッグトレーナーが愛犬のしつけ問題を解決してくれる機能
2. 愛犬の記録
3. 同じ犬種の人同士でつながれるSNS機能
4. マップ機能

それぞれスクリーンショットと一緒にご説明させていただきます。

1. プロのドッグトレーナーがしつけ問題を解決してくれる機能

このアプリの一番の大きな強みとなる機能です。

愛犬の犬種、年齢、しつけの状態などによってプロのドッグトレーナーが、飼い主に対してアドバイスをを行います。

この機能は飼い主とドッグトレーナーが直接やりとりをするものではなく、アドバイスのデータベースを構築しており、条件に合った犬に自動で配信が行われます。



2. 愛犬の記録

愛犬を管理するための機能です。

愛犬の日々を記録をすることでアルバムを作成してくれます。

その他にもフィラリアの予防注射をした日、トリミングした日、保険証、持病などの各種管理ができます。

特に多頭飼いをして一匹の管理が困難であったり、愛犬が持病を抱えており細かな体調管理が必要という飼い主の問題を解決します。



3. 同じ犬種同士でつながれる SNS機能

愛犬を登録すると同じ犬種を飼っている人同士でつながることができます。

他の犬の投稿に対して「いいね」や「コメント」をすることができます。気に入った犬に対しては「フォロー」することができます。

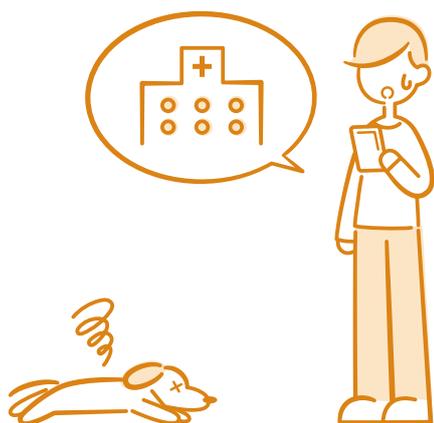


4. マップ機能

特定の場所にある犬に関連する施設を簡単に見つけることのできる機能です。

ペットショップ・トリミングサロン・動物病院・ドッグカフェなどの情報を素早く検索することができます。

営業時間であったり、駐車場の有無、クレジットカードが使えるかどうかなどで分かります。



「いぬノート」の今後の展開

このアプリを通して「犬と人がより良い関係を築ける」社会を実現するための機能を盛り込んでいきます。



開発背景ストーリー - 簡単に

代表が犬を飼っている時に直面した多くの悩み。そして、それらを専門的な知識によって解決したとき「他の飼い主も同じ問題で苦しんでいるのではないか。」という仮説から、皆さんに愛犬のトラブルを解決していただくためアプリを開発しました。

開発背景ストーリー - 詳しく

このサービスが生まれる背景となったのには、代表の西田の生い立ちが深く関わっています。

彼は京都のとある家に生まれましたが、生まれた時にはすでに家に2匹の犬がいました。とは言っても今のように家で飼うことが今ほど一般的ではない時代です。2匹は番犬として外につながれていました。あまり接することもなく小学生に上がる頃には、2匹とも寿命によって亡くなってしまいました。

小学生になったころ、3匹目となる「バーニーズ・マウンテンドッグ」というスイス生まれの大きな犬を迎えます。この頃から「犬の散歩」という活動に参加するようになります。

しかし、散歩では多くのトラブルがあり、例えば犬が拾い食いをしたり、他の犬に吠えたり、引っ張られることが多くありました。自分の体重ほどある犬だったので、危険な目に何度も遭いました。



それらの問題を自分なりに解決しようと、テレビなどで紹介されていた「口を掴んで睨め付けたりする行為」（現在このマズルコントロールという方法は、推奨されていません。）によって怒ったりをしていましたが、効果はほとんどありませんでした。それどころか犬との距離は、さらに遠のいたように感じ、問題も解決しませんでした。

そういうしている間に、この犬は「癌」によって亡くなります。この犬種が、日本において癌による死因が高いことを犬が死ぬまで知りませんでした。

4匹目は「ヨークシャー・テリア」で、初の室内犬となりました。しかし、犬を外でしか飼ったことのなかった自分を含める家族は、部屋が荒れることを恐れ、生活スペースを別けてしまっていました。また一通りの指示は聞くものの、犬との距離を感じていました。

この犬は、腎不全で亡くなりますが、父がよく与えていた人間の食事がこの病気に影響することを後で知り、なぜもっとちゃんと止めなかったのだと激しく後悔しました。



そして、現在飼っている5匹目の犬を迎えることとなります。この頃、犬が身近にいたことから犬のメディアを起ち上げようとしています。

調べ始めて早々にあまりに自分が犬に対して知識がなかったことに気がきました。過去に家にいた犬たちへの激しい後悔の念に襲われました。

そして自分のふがいなさに激しく憤り、気づけば1年間で75万字以上、犬について調べていました。（現在は100万字を超える）そして、あらためて犬との関係をみると、自然と良好な関係になっていることに気づきました。

知り合いで犬を飼っている人に聞いたところ、同じようなことで悩む人が非常に多いことに気がきました。また、みんな自分と同様に何かあったあとで「もっと良くしてあげれば良かった」と後悔していることに気づきます。

同じような後悔を飼い主にして欲しくない。そして、飼い主の知識不足によって飼い主との時間を楽しめない犬を減らしたい。

そんな思いから、このアプリを作ることにしました。

ANIMA株式会社が目指すもの

欧米に比べて200年遅れていると言われていた日本のペット文化を220年進めること

ANIMA株式会社について

会社名：ANIMA株式会社

設立：2017年2月20日

事業：ペットアプリの開発

所在地：〒602-0841 京都市上京区河原町通今出川東入梶井町446番地 リアアップ東 2階

資本金：100万円

代表者：西田 陽介

電話：050-3184-1212

FAX：03-4243-3614

URL：<http://animainc.jp>

メール：info@animainc.jp

◆ 本件に関するお問い合わせ先

会社：株式会社ANIMA株式会社

担当：代表取締役 西田 陽介

TEL：050-3184-1212

FAX：03-4243-3614

E-mail：info@animainc.jp